

会 議 結 果 の お 知 ら せ

附属機関等の名称	第4回 下水汚泥肥料有効活用に関する有識者懇談会
会議の公開について	公開
令和8(2026)年7月29日	
(概 要)	
1 日 時	令和8(2026)年7月2日(木曜日) 14時00分～15時30分
2 場 所	栃木県庁本館9階会議室3(WEB 併用)
3 出 席 者	汚泥肥料有効活用に関する有識者懇談会 委員 4名
4 議題及び議事	事務局から、別添会議資料により栃木県の下水汚泥肥料化の取組状況について説明を行った。委員から、次のとおりご意見をいただいた。 【委員からの主な意見】 ・下水汚泥肥料の普及拡大に向け、各自治体への情報提供や下水道フェスティバルなどの各種イベント及び高校と連携した栽培試験のメディア報道等、引き続き下水汚泥肥料の特徴や安全性を踏まえたPRを継続的に、かつ幅広い層に実施することが望ましい。 ・試作肥料の成分は、カリウムの含有量が少ないためカリウム要求量の少ない作物を選んで栽培試験を実施すると良い。 ・栽培試験では、下水汚泥肥料と化成肥料の栽培区を分け、比較すると良い。 ・水はけをよくするために、製造された堆肥をペレット等の粒が大きい状態にすると良い。 ・収穫した作物を集計する際は、全体数値の平均や標準偏差のほか、基準値を設定し、基準値より大きいものだけを集計する等、集計方法に留意すると良い。 ・試作肥料の臭いには問題がなさそうだが、今後、本格的に堆肥化装置を可動させる際には、稼働時に排出される排気の臭いについても、留意すると良い。 ・重金属の移行試験は、1年だけでなく継続的に実施すると良い。
5 そ の 他	今後のスケジュールについて、委員からいただいた意見を踏まえ検討を進めるとともに、業務等の進捗状況を踏まえ、第5回懇談会を開催する予定。
問合せ先	栃木県 県土整備部 上下水道課 下水道担当 TEL.028-623-2506